



愛知長久手ロータリークラブ

2019-2020

WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」

会長 中川清子 幹事 伊藤 真 会報 奥野悦弥

Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446

FAX:0561-64-5459



ロータリーは世界をつなぐ



本日 第 787 回 2020 年 6 月 16 日(火曜日)771 号

<本日のプログラム> Today's Program

◇ 点 鐘

◇ ロータリーソング 「我らの生業」

卓話演題:「年間回顧」

進 行 : 会長・幹事

前回 第 786 回例会 2020 年 6 月 9 日(火曜日)記録

<出席報告> 員 総 数 18 名

出席者 14 名 出席率 77.77%

<会長挨拶>



愛知長久手ロータリークラブ
会 長 中川清子

皆様こんにちは。お久しぶりです。

2月25日以来、約3カ月強、お会いしなかった事になります。

各々、個人的には顔を合わせてみえる事もあったでしょうが、トヨタ博物館で、この様に対面でお会い出来る嬉しさは格別ですね。

新型コロナウイルス感染症の爆発ということで、我々の味わったことのない恐怖の毎日でした。

といっても、まだまだ心安らぐものではなく、現在は「with コロナ」の時代です。最新情報では、愛知県はゼロとなっておりますが、注意に注意をして、油断しないようにしなければなりません。

今後又、いつ外へ出られなくなるような事態が来るかもしれない、先日“zoom”というアプリを使ったテレビ会議を2回程やってみました。まだ参加者は4~5名でしたが、私の属する不動産業界はいち早くこのzoomを取り入れて、2月頃から集会の代わりに使っており、ロータリーにも提唱して、幹事さんをお願いしてお世話をおかけしました。いつでも使える体制にしておくことも必要ではないかと思えます。

交換留学生のマリーちゃんの件も、今年一番のイベントですが、会員の皆様、特に山田さん御一家、伊藤真さん御一家のホストファミリーのおかげで、何とか順調に進んでいるようです。

先日は思いがけなく、長久手市役所を窓口にして、困窮家庭、その他老人ホーム等、マスクを長久手RCとして配布する事が出来たのも大きな出来事でした。このクラブの良い所は「すぐに一致団結して事に当たれる」という事だと思います。

また一つ、大変うれしいことがありました。丹羽さんが受勲されたのです。素晴らしい事ですので、又場を改めてお祝いしましょう!!

あと一步で、私共中川年度の会長幹事役も終わりますが、今ひとつ気を引き締めて、次の富田さん年度へバトンタッチしなくては、とっております。



田中信子 5/10 小谷恒夫 6/3

<幹事報告>

- ① 例会終了後、第12回現・次理事役員会がございますので、理事役員の方はよろしくお願ひいたします。
- ② 次回例会6/16(火)は、12:30-13:30 華野での例会となります。食事の関係上 6/10 までに伝助にご入力 よろしくお願ひいたします。
- ③ メール・FAX にてご案内をさせていただいております最終夜間例会の出欠のご連絡は6/15までとなっております。返信期日までにご連絡をよろしくお願ひいたします。
- ④ トヨタ博物館より食事の予約は木曜日までにお願ひしますとお願ひがございました。つきましては、出欠連絡の 伝助入力 は木曜日午前中までにご入力お願ひいたします。

■ニコボックス委員会■

- ・奥野さん、田中さん、小谷さんお誕生日おめでとうございます。久しぶりに皆様にお会い出来て 中川清子
うれしいです。
- ・本日どうぞ宜しくお願ひいたします。 伊藤 真
- ・皆さまお久しぶりです!!奥野・田中・小谷3名様誕生日おめでとうございます!!私事、令和2年 丹羽司一
春の勲章・褒章受章にて“旭日小綬章”を受章させて頂きました。
- ・皆さまのご支援の賜物です!!ありがとうございました。
- ・本日もよろしくお願ひします。 富田盛義
- ・皆さんお久しぶりです。元気そうでうれしいです。 伊藤広治
- ・奥野さん、田中さん、小谷さんお誕生日おめでとうございます。クラブフォーラムよろしくお願ひ 日野典子
します。
- ・本日もよろしく。 大島昭夫
- ・皆さんお久しぶりの笑顔ありがとうございます。奥野さん、田中さん、小谷さんお誕生日おめで 山田文明
とうございます。クラブフォーラム次年度会長幹事よろしくお願ひいたします。
- ・コロナで大変でしたが、頑張っています。69歳ますます頑張ります。 田中信子
- ・皆様 本日も宜しくお願ひします。 神谷恵理
- ・顔が見えることは良いことです。本日もよろしくお願ひします。 近藤鋭雄
- ・久しぶりにお会い出来てうれしいです。 大橋良宣
- ・お久しぶりです。コロナウィルス大変でした。またよろしくお願ひします。 小笠原多恵
- ・本日もよろしくお願ひ致します。 小谷恒夫

“お洗濯 お風呂掃除にお炊事と 上手になるなる コロナ渦かな～”

新型コロナウイルスが猛威をふるう中、ロータリー会員らが、ビジネスオーナーによる商品のオンライン販売、消毒剤の材料の確保、医療従事者への食料提供を可能とするサイトを立ち上げました。

新型コロナウイルス対策として大規模なロックダウンが発令されているイタリアでは、モリモンド・アッパツィア・ロータリークラブの会員が、ウイルス流行の影響を受けている人びとや企業を支援し、希望へとつなげています。

このクラブが提供している支援は、医療従事者への食事の無料提供、消毒液の材料調達に必要なサプライチェーンの確立、対人ビジネスの企業がオンラインビジネスに移行するためのサポートなど、切迫したニーズと長期的なニーズの両方に対応しています。

今、私たちが未曾有の事態に直面していることは一目瞭然です。ロータリーの精神に基づき、私たちはロータリーのネットワークと専門知識を駆使して地域社会を支援しています

- ピア・メトランゴロさん (イタリア、モリモンド・アッパツィア・ロータリークラブ会員)

新型コロナウイルスにより大きな打撃を受けているイタリアでは、現在までに 183,000 人を超す感染者と 24,000 人以上の死者が出ており、その多くが北部地方で発生しています。イタリア政府は 3 月上旬、北部地方の市民のすべての移動を原則的に禁止し、不要不急な企業活動をすべて停止させるなど、大胆な策を講じました。その後すぐに、この制限を全国規模へと拡大させました。

これにより同国の経済が大打撃を受けるのは必至で、中でも中小企業への被害が最も深刻とされています。この渦中において、ミラノ近郊のイタリア北部の町・モリモンドに住むロータリー会員は、小売店やビジネスオーナーをこの危機から救いたいと考えていました。

企業にライフラインを提供

モリモンド・アッパツィア・ロータリークラブの会員であり IT 企業の共同創業者でもあるダヴィデ・カルネヴァリさんは、クラブと Mitobit 社が提携して行う取り組みを提案しました。そのアイデアとは、この 2 つの組織が協力して電子商取引のプラットフォームを開発し、中小企業が各社の商品を宣伝、販売、納品できるようにするというものでした。イタリアではオンラインで商品を販売する企業は全体の 10% に留まっており、このウェブサイトは中小企業のオーナーたちにとって現在、そして将来にわたる売上増加の重要なツールとなります。「ビジネスの全体的なアプローチを変えることで、営業再開後も事業が持続可能なものになるようにしたい」とカルネヴァリさんは言います。

クラブと Mitobit 社は 3 月の第 2 週に、「ホームデリバリー」を意味する「Consegnacasa」というウェブサイトを設立。Mitobit 社がウェブサイトを開発・設計し、クラブの会員が法的支援や連絡、宣伝を担当しました。このウェブサイトでは、ビジネスオーナーが商品を無料で宣伝でき、また顧客も使いやすいオンライン決済システムや配送サービスを利用できます。

イタリアにとって最大の課題の一つは、パンデミック（世界的大流行）が終息した後に何が起こるのか、ということです。私たちは、社会が平穏を取り戻したとき企業も成功を収めることができるよう力を貸したかったです。カルネヴァリさんによると、4 月上旬から商品の配送が始まったそうです。クラブは、マスクや手袋の着用、可能であれば顧客と直接会うことを避けるなど、配送の際にビジネスオーナーが取るべき安全策も取りまとめました。

またクラブがスポンサーとなっているローターアクトクラブと協力し、ウェブサイトやソーシャルメディア（フェイスブックなど）を活用しているもののオンラインビジネスは行っていなかった企業にも連絡を取りました。ローターアクト会員がソーシャルメディアの戦略を練り、ビジネスオーナーと連絡を担当。さらにクラブはソーシャルメディアのノウハウに関する資料も作成し、フェイスブックやインスタグラム、ツイッターといった SNS 上での広告についてビジネスオーナーらの知識を高めました。

「イタリアにとって最大の課題の一つは、パンデミック（世界的大流行）が終息した後に何が起こるのか、ということです。企業に今後どのような未来が待ち受けているのかは誰にも分かりません。私たちは、社会が平穏を取り戻したとき企業も成功を収めることができるよう力を貸したかったです」。こう語るのは、モリモンド・アッパツィア・ローターアクトクラブの会長を務めるアリーナ・ドロセンコさんです。「ローターアクトクラブなので多くの資金はありません。でも私たちにはソーシャルメディアと IT のスキルがあるので、小売店ビジネスを最新のトレンドに合わせる支援ができます」



全国的なロックダウンの中、閉鎖した店舗や学校、公共施設が立ち並ぶモリモンド（イタリア）の通り。イタリアでは、新型コロナウイルスの感染拡大を阻止するため 3 月と 4 月のほとんどの期間に市民の移動が禁止されました。これまでのところ、モリモンドやミラノ、南はローマまで、これらの地域で事業を営む 20 名のビジネスオーナーがこのウェブサイトを利用しています。「利用者数に制限はありません」とカルネヴァリさん。「この取り組みを進め、できるだけ多くの企業を救いたいと考えています。」

最前線で闘う医療従事者を支援

モリモンド・アッパツィア・ロータリークラブは企業だけでなく、医療従事者も支援しています。同クラブの会員であり、ミラノ工科大学で化学工学の教授を務めるピア・メトランゴロさんは、差し迫って必要とされている手指消毒液を同大学が製造しようとしていることを知り、クラブがこの計画に貢献できる方法を探っていました。しかし、企業は営業停止中であり、世界保健機関が推奨する原材料の入手は容易ではありませんでした。そこでメトランゴロさんとクラブの会員たちは、各自の仕事仲間や知人に連絡を取り、手指消毒液の原材料の供給や、製品の流通に力を貸してくれる製造業者のネットワークを立ち上げました。

「今、私たちが未曾有の事態に直面していることは一目瞭然です。ロータリーの精神に基づき、私たちはロータリーのネットワークと専門知識を駆使して地域社会を支援しています」とメトランゴロさんは話します。

またクラブは大学に寄付し、消毒液製造の継続を支援しました。これにより、ミラノ工科大学は一日最大 5,000 リットルの消毒液を製造し、地元の病院や赤十字社、警察署、刑務所に配布しています。メトランゴロさんによると、大学はマスクを生産するライセンスも最近取得したそうです。「私たちは今後もできる限りの手を尽くして支援を続けます。この緊急事態にはロータリーの力が必要なのです」

地元のある老人ホームでは、医療スタッフは帰宅せず、施設に寝泊まりすることでウイルスの感染拡大を防ぎながら患者のケアを続けています。メトランゴロさんはこれを「勇敢な決断」と呼びます。クラブは、スタッフが安全に帰宅できるようになるまでの食費として約 3,000 ドルを寄付し、週に一度、スタッフと入居者のためにピザを差し入れています。モリモンド・アッパツィア・ロータリークラブの双子クラブであるヘルシンキ-フィンランド・ホール・ロータリークラブ（フィンランド）がこの取り組みを知り、追加の食費として 550 ドルを寄付しました。モリモンド・アッパツィア・ロータリークラブの会員たちは、会員同士が直接会えないことを辛く感じているものの、クラブのエネルギーと粘り強い精神は今も薄れていないと言います。カルネヴァリさんによると、会員 40 人のほとんどがオンライン例会に毎週参加しているそうです。「互いに会えないのは残念ですが、困っている人びとに希望を届けることが私たちの使命。オンライン例会は熱気に満ちあふれています」とカルネヴァリさん。「イタリア人にとって今は苦難の時ですが、必ず耐え抜いてみせます」



台湾中原ロータリークラブ20周年記念式典



6月23日(火)	6月30日(火)	7月7日(火)	7月14日(火)
19-20年度 最終夜間例会	同週祝日振替休会	会長幹事交代式 祝福 会長幹事所信表明	五大奉仕委員長方針
(日本料理 大森)		(トヨタ博物館)	(トヨタ博物館)